

緊急車両の通行性を考慮した 消防施設の配置に関する研究

学生氏名 武内 大記
担当教員 皆川 勝

1. 目的

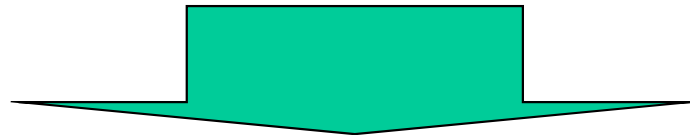
- 兵庫県南部地震では緊急車両の火災現場への到着までに時間を要したために大規模な火災となった。そこで本研究では、震災時の消防施設から出火点までの距離を考慮した地域特性の解析を行ない、緊急車両の移動距離をその地域の危険度として評価することを目的とする。実際に世田谷区に対して消防署からの道路を使用した場合での移動距離の算出を行ない、消防署の管轄を考慮した場合と、管轄を考慮しない場合での各地域の地域危険度を表示する。

2. 設定

道路の設定 (selectroad)

出火点の設定 (start-point)

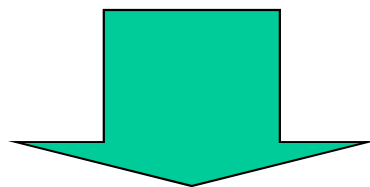
消防施設の設定 (shooubou-p)



ArcViewNetworkAnalystの使用

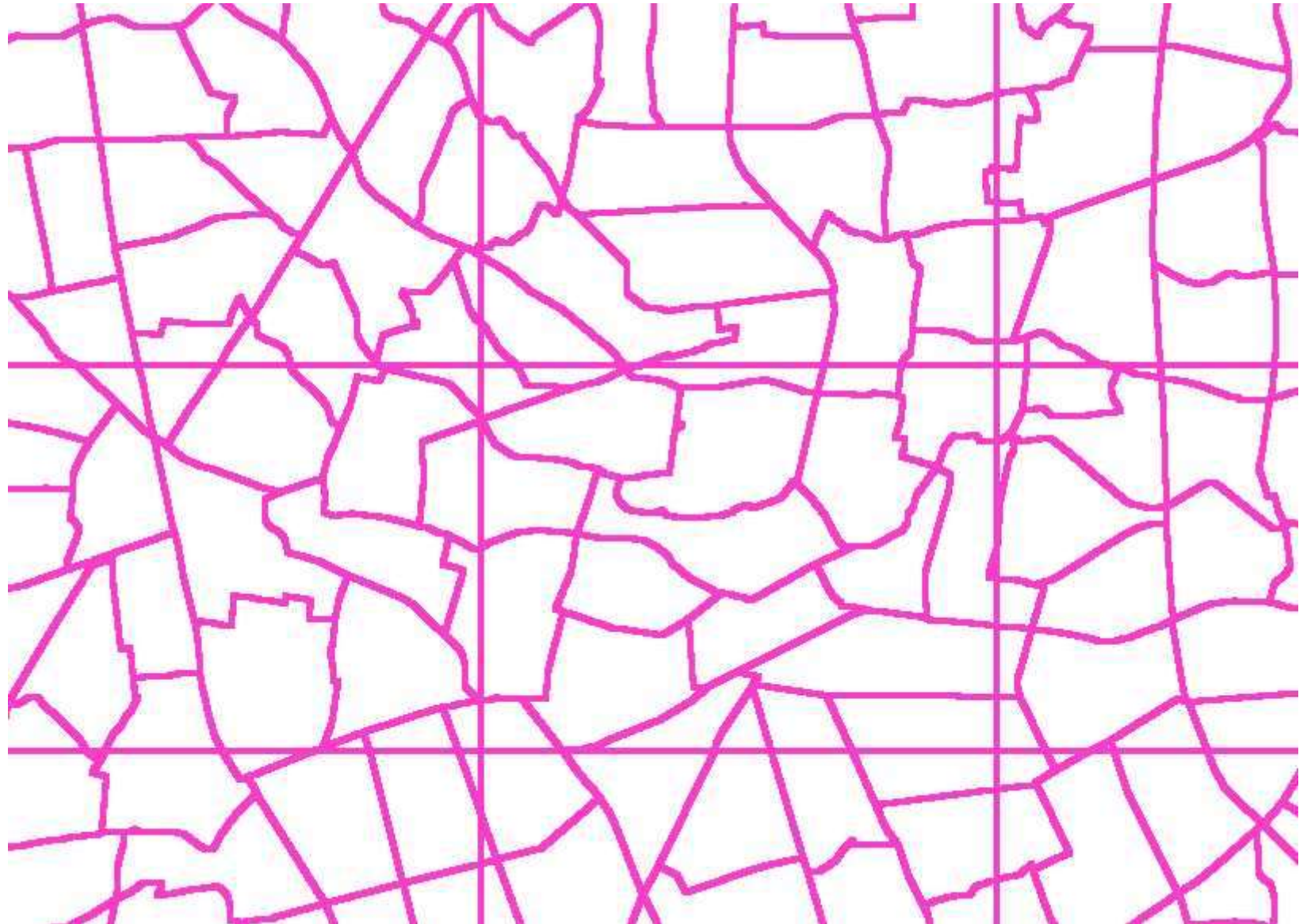
2-1 道路の設定

扱う道路のレコードが膨大な数なので主要な道路を選出

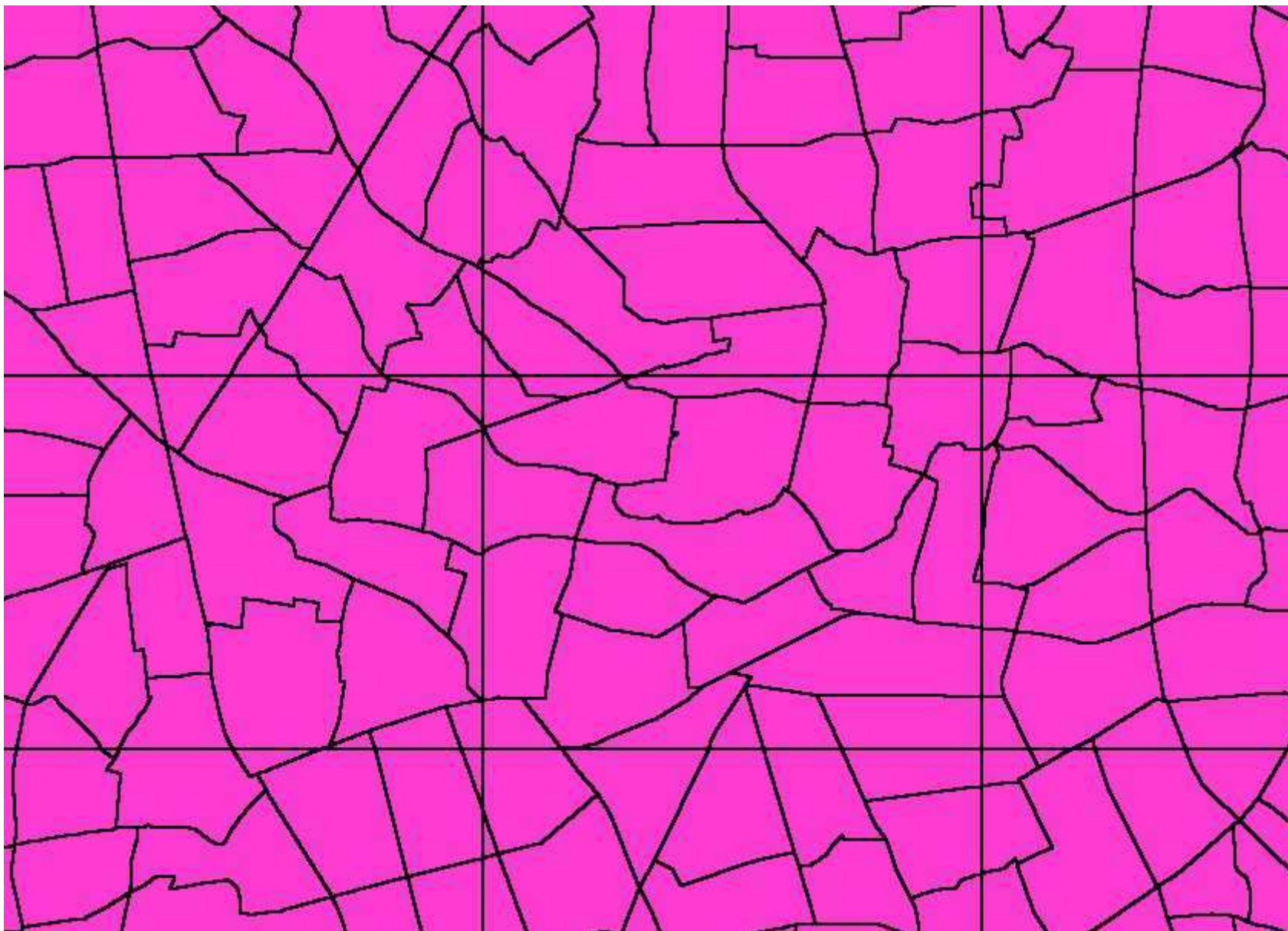


交通容量のある道路と考えられる丁町目を分けている道路

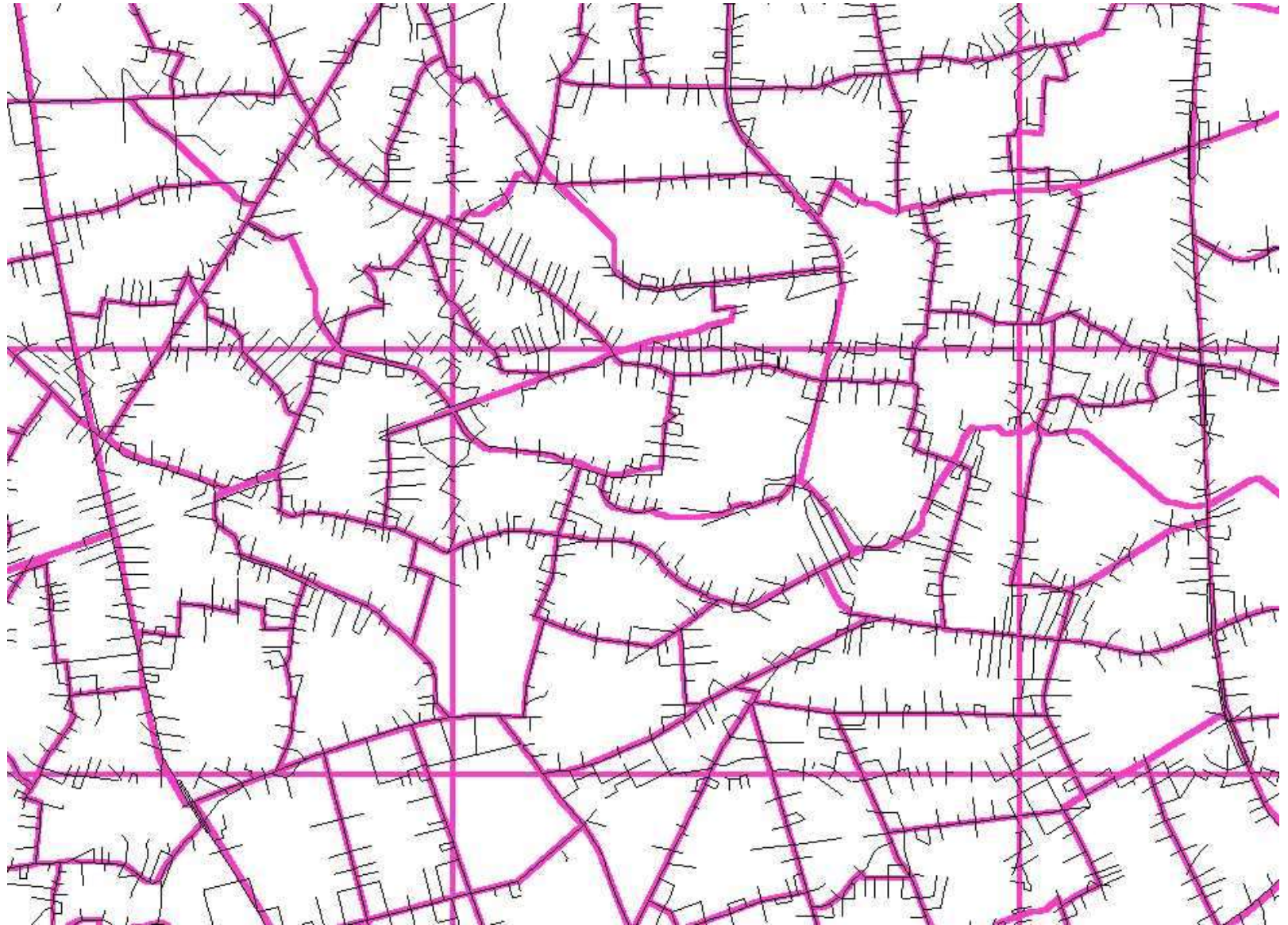
丁目をpolylineテーマに変換



丁目のpolygonテーマ



select-road



2-2 出火点の設定

